赤い羽根共同募金 × piapro
支えあうココロ、未来へ。
ボランティア情報誌
おいらせ町ボランティアセンターだより
第 25 号平成２９年９月２６日発行
編集・発行　おいらせ町ボランティアセンター
おいらせ町下前田 158−1　TEL0178-52-7066
初音ミク
HATSUNE MIKU
赤い羽根共同募金
赤い羽根共同募金にご協力よろしくお願いいたします。www.akaihane.or.jp
赤い羽根
検索

町に愛を。胸に羽根を。

10月1日から
全国一斉にスタート!!
おいらせ町での強調活動期間
≪10／1～10／31≫

《平成 29 年度一般募金目標額》

おいらせ町の目標額		3,650,000 円
内訳	①広域目標額	1,600,000 円
	②地域目標額	2,050,000 円

①全県的な民間福祉活動に必要とする金額
②おいらせ町の福祉活動に必要となる金額

〈平成 28 年度募金実績額〉

募金実績総額		3,669,186 円	
内訳	戸別募金	2,714,018 円	5,782 世帯
	大口募金(法人・企業等)	518,000 円	89 件
	職域募金	56,282 円	11 件
	学校募金(保育園等含む)	171,827 円	23 件
	街頭募金	36,565 円	2 日間
	その他募金	172,494 円	25 件

【困ったときは、お互いさま】

じぶんの町を良くするしくみ…

10月1日から全国一斉、赤い羽根共同募金運動がスタートします。

共同募金は、地域で進められる様々な福祉活動の積極的な支援となることが期待され、地域福祉の充実の為に欠かせないものとなっています。

今年も、町の地域福祉推進事業支援の為に目標額達成を目指し、関係機関及び奉仕者の協力のもと、戸別募金・大口募金・職域募金・学校募金・街頭募金等の運動を展開します。

おいらせ町の戸別募金は1世帯500円を目安にしています。

戸別募金は、おいらせ町の目標額達成を目指すため、1 世帯 500 円を目安としています。ご協力を宜しくお願い致します。

町内会長(福祉協力員)さんを通じ、各班長さんが募金活動の奉仕者として皆様のお宅を訪問致します。今年もご協力をお願い致します。

地域で集めた募金は、じぶんの町を良くする為に使われます。

地域で集めた募金は、集めた地域で使われます。募金による助成には、市町村の活動を応援する**地域助成**と、市町村を越えた広域での活動や先駆的な活動を応援する**広域助成**があります。

全国的な統計では、地域助成と広域助成の一部を合わせて集まった募金の 7 割が募金をいただいた地域で使われています。残りの 3 割は市町村を越えた広域での活動や災害時の備えなどに使われています。

社会福祉協議会が実施する福祉事業へ 赤い羽根共同募金助成金2, 050, 000円

平成 30 年度地域助成申請額の使い道は…

老人福祉活動へ　865,000 円

●高齢者見守り活動(年末おせち弁当)
●町老人クラブ、家族介護者の団体へ

福祉育成活動へ　885,000 円

●社協だより、ボランティア情報誌発行
●児童・生徒夏ぼらんてぃあ体験学習へ

●子ども会育成連合会、保育会へ
●赤十字奉仕団、連合婦人会へ
●更生保護女性会、こでまりの会へ

障がい者福祉活動へ　255,000 円

●身体障がい者福祉会への活動費助成
●障がい者いきいきサロン活動へ

母子福祉活動へ　45,000 円

●母子寡婦福祉会への活動費助成

共同募金に目標額がある理由とは…

共同募金は「**計画募金**」です

　共同募金は、運動の前に県内の社会福祉施設や福祉活動を推進している団体からの助成申請を受け、あらかじめ使い道の計画と計画の実施に必要な募金の目標額を決めてから募金を行う「**計画募金**」です。

　助成計画や募金の目標額は、法律によりさまざまな分野からの県民の代表者による配分委員会で立案し、理事会・評議員会で決定します。

　地区ごとに示される目標額は、目標を達成する為にご協力頂きたい目安額として世帯数等を参考にお示しさせて頂いております。

　災害の発生など特別の場合を除き、青森県の皆さんから集められた募金は、青森県内の社会福祉事業や活動を支援する為に使われます。

二〇一七 児童・生徒夏ぼらんていあ体験学習

（赤い羽根共同募金助成事業）

木内々小学校

木ノ下中学校

下田中学校

目的：夏休み期間を利用して、児童生徒が町内の各種福祉施設でボランティア体験をしながら、福祉施設やボランティア活動について学習するものです。

主催：おいらせ町社会福祉協議会

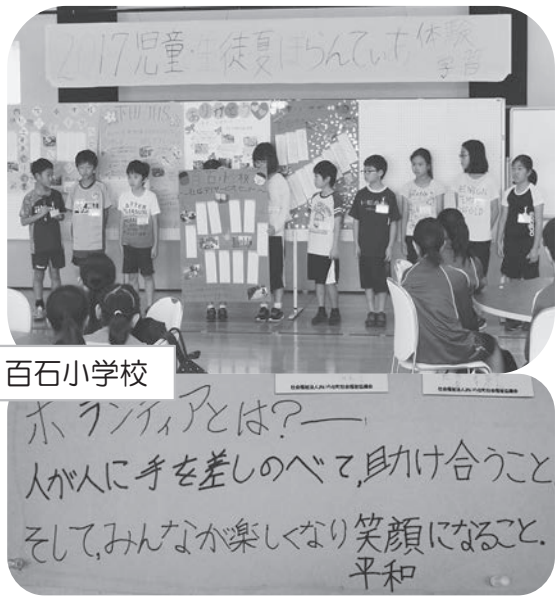
後援：おいらせ町/おいらせ町教育委員会

参加対象：おいらせ町内の小中学校児童・生徒

体験日	学校名	人数	体験施設
7月26日	下田小	7	老健しもだ
	木内々小	11	特養・デイ 木﨑野、あぐり
7月27日	木ノ下小	18	特養・デイなど 百石荘
7月31日	下田中	6	社協 デイサービス
	木ノ下中	12	デイ・グループ いこいの森
8月1日	百石中	10	あかしや寮
8月2日	甲洋小	10	特養・デイ 阿光坊の郷
	百石小	11	社協 デイサービス
8月4日	事後研修会 会場：みなくる館		

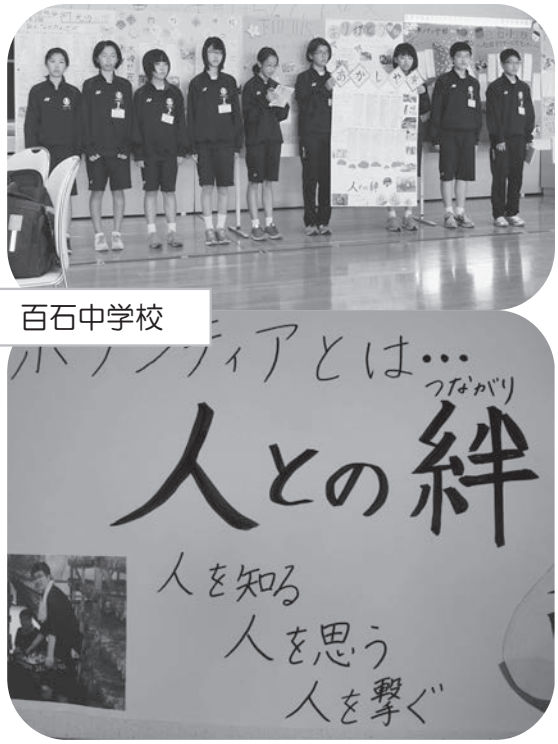
児童生徒たちが思う「ボランティア」とは？

甲洋小学校



百石小学校

木ノ下小学校



百石中学校

下田小学校

第十二回ボランティアまつり

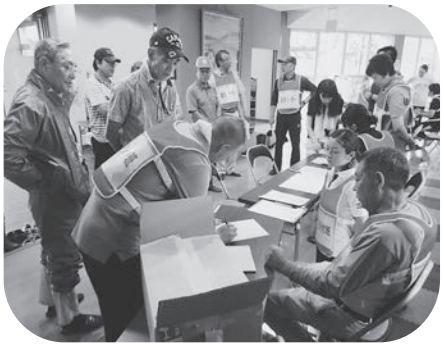
交流・仲間づくりのために・・・

実施日：平成２９年８月２０日（日）
　　９：００～１５：００
場　所：いきいき館・のびのび館
主　催：おいらせ町社会福祉協議会
協　力：こでまりの会・身体障害者福祉会・
　　母子寡婦福祉会・家族介護者の会・
　　更生保護女性会・赤十字奉仕団・
　　連合婦人会・老人クラブ連合会・
　　災害ボランティア連絡会・就労継続
　　支援B型事業所ベアハウス・八戸市
　　ふれあいセンター「出前わいぐ」

災害は、忘れなくてもやってくる?!

災害ボランティアセンター 受付・炊き出し訓練

おいらせ町総合防災訓練時実施
実施日：平成２９年７月２３日（日）
共　催：おいらせ町災害ボランティア連絡会
　　おいらせ町社会福祉協議会



研修会 パネルディスカッション

テーマ
台風10号災害に伴う被災地支援から学ぶもの

おいらせ町災害ボランティア連絡会定例総会時実施
実施日：平成２９年６月２９日（木）
主　催：おいらせ町災害ボランティア連絡会

収集ボランティア活動で「キャップ」・「プルタブ」寄贈

8月21日、百石中学校の生活委員会は、ペットボトルのキャップ約48kgとプルタブ約65kgを町社会福祉協議会に寄贈しました。

生活委員会35名のメンバーをまとめる3年2組の多田望斗委員長は、「こんなに多く集めることができたのは、全校生徒みんなが協力してくれたおかげです。みんなが心一つになるとすごいパワーが発揮されると感じました。来年度も、みんなで協力し合い今年度以上に多く集めてほしいです。」と感想を述べ、後輩へエールを送っていました。

町社会福祉協議会では、皆様から寄贈された「プルタブ」や「キャップ」を、福祉活動や収集活動に使用したり、NPO法人エコキャップ推進協会へ寄贈しています。

NPO 法人エコキャップ推進協会の HP で確認できます。

「ボランティア活動実践セミナー」へ参加

ボランティアサークルこでまりの会は、5月18日青森市県民福祉プラザで開催された平成29年度ボランティア実践セミナーに参加しました。セミナーは、県社協と県ボランティア連絡協議会が主催し行われたもので、参加したこでまりの会員14名は「様々なボラティア活動を知ることで、個々のスキルアップにつながる。」と感想を述べていました。

老人クラブが草とりなどの奉仕活動

町老人クラブ連合会は、6月13日と28日に福祉プラザのびのび館と老人福祉センターの草取りや枝きりなどの奉仕活動を行いました。

連合会は、年間4回の奉仕活動を予定しております。